

ウマ娘 RTA 輝く未来

ウルトラくるみ

【注意事項】

このPDFファイルは「ハーメルン」で掲載中の作品を自動的にPDF化したものです。

小説の作者、「ハーメルン」の運営者に無断でPDFファイル及び作品を引用の範囲を超える形で転載・改変・再配布・販売することを禁じます。

【あらすじ】

架空のゲーム『ウマ娘プリティダービー!』にて、自身がウマ娘となって活躍する『ウマ娘モード』でRTA風に物語を進める小説です。レギュレーションはキャラメイク終了後から計測を開始し、チームの初期メンバーでURAファイナルズを勝ち抜いた時点でストップします。

目次

	m	m
	p	p
	2	1
	『ゆかいな	『はじまり』
	なかまたち』	—
11		1

m p l 『はじまり』

お前が愛馬になっっちゃうゲームのRTA、はあじまあるよー！

今回は数年前に大ブームになったソシャゲを据え置きゲーム機用にアレンジした怪作『ウマ娘プリティーダービー！』にて、『ウマ娘モード』の初期メンでURAFアイナルズを制覇すると獲得できる称号、輝く未来の取得までを計測するレギュレーションです。

(淫夢要素は) ないです。

それじゃあはい、よいいスタート。

まずはキャラメイクです。

オープンニングはアプリ版と変わらずGIRLS LEGEND Uです。読者の兄貴たちはどの娘が好きですか？ 私はオグリキャップ。もちろんみんな好きですよ。

フルで流れるオープンニングを聞きながら今回のレギュレーションについて詳しく説明していきます。

今作では複数のモードに分かれており、その1つである『ウマ娘モード』はオリジナルのウマ娘を作って走ったり歌ったり百合になったりする事ができます。

今回の目的は自分を含めた所属チームの初期メンバー5人で、URAFファイナルズを制覇することです。とはいえ自分以外の初期メンバーは所謂モブウマ娘なので、初期ステータスはかなり低めに設定されていますが関係ねえんだよそんなの。

なんかやかんやでキャラメイク画面になりました。見た目を選ぶ前に、まずは学年を選びます。選べるのは中等部と高等部の2択ですが、ここは高等部を選びます。中等部と比ベトレーニング時間やイベントの幅などで育成が楽になります。最初の3年だよ、3年。

次に所属寮ですが栗東一択です。美浦よりもウマ娘が多い栗東寮は、育成イベントが発生しやすくネームドのウマ娘と絆ゲージを上げやすくなります。

今回のゲームではガチャシステムが廃止されたので、トレーニングの場所にいるウマ娘は基本的にランダムになるため、狙って特定のウマ娘の絆を上げるのはとても困難です。そのためキャラメイク後の育成で困ることのないように、少しでもウマ娘の多い栗東寮を選びます。美浦寮を選ぶ理由はライスに会えるからぐらいでいいでしょ（適当）

あつ、そうだ（唐突）

絆ゲージを最大まで上げると、スカウトイベントが起きます。スカウトしたいウマ娘との一騎討ちで、レースに勝ったらチームに加入してくれるんです。今回は初期メンでの優勝なので、あまり使う機会はないです。

ようやく見た目を選ぶことができます。緑の悪魔に尋問されるので大人しく素直に答えましょう。稀に理事長や乙名史記者、笹針師から聞かれることもあります。笹針師の場合はステータスが高めに設定された状態でスタートできますが、確率はスペちゃんから全身全霊を貰うより低いため期待しなくてもいいです。

ランダム選択もできますが、せっかくなので私の性癖を詰め込めるだけ詰め込もうと思います。青髪のアストレートにして、目は赤にします。身長は170cmぐらいにおきましょう。ちなみに初期の体重も変更することができ、その値によってプロフィールの文章が変わります。

ここからはたづなさんの質問に答えていきます。ウマ娘の性格が関わる場面ですが、ボタン連打で進めていきます。ゴルシみたいな性格になっていない事をお祈りしておきましょう（2敗）

名前はホモにしておきたいのですが、どうやら大人の事情で使うことができませんでした。タドコロコウジも駄目だし、入力速度も考えてホモモにします。

なお名前にメジロやアグネスなどの単語を入れると親族扱いとなって、特殊イベント

が発生する事があります。振れ幅がデカすぎるので今回はキャンセルだ。

続いて初期ステータスとレース適性の画面に移ります。これはランダムに組まれるので、改造しない限りは高個体値になることはありません……

フアツ!? なんだこれは、たまげたなあ

バ場適性と距離適性がAになってるじゃないか。チームのメンバーにもよりますが、ホモモちゃんはどこに出しても活躍できそうです。脚質適性は逃げと先行がA、逆に差しと追込がGと両極端な性能になっています。

肝心のステータスですが…… 普通だな!

根性が1000になってますが他はいつも通りのG+です。スタミナが他と比べて少ないけど誤差だよ誤差。

さて、ようやくプロログになります。トレセン学園についてと理事長のURA開催宣言までの流れがフルボイスで収録されています。ここから計測開始です。ムービーはカットします。

スキップしたことでホモモちゃんの操作ができるようになりました。可愛いね、○○
○として(提案)

「ここにいたか、ポニーちゃん！」

教室でブーツとしているとフジキセキがやってきました。最初に寮長が来るパターンは初ですね。いつもは同じチームメンバーが迎えに来るんですが、まあいいでしょう。

ポニーちゃん呼ばわりは嫌なので、ここは自分の名前を教えてあげましょう。私はホモモ、気軽にホモって呼んでくれ。

「ごめんごめん。そんなに気を悪くしないでくれ」

ヒシアマ姐さんならこんなことにはならないんだけどなあ。それよりホモモちゃん小さくない？ 設定ではフジキセキと同じくらいなんだけど……

話を纏めると、どうやらホモモちゃんは転入生らしく廊下の荷物の整理をしないといけないそうです。困りましたねえ。自分の部屋は寝ることしか使わない予定なので、急いで作業に取りかかりましょう。荷物は段ボールに入れたままで構いません。

さて、相部屋のウマ娘はハッピーミックでした。随分と可愛らしい小物が置かれてい

ますが、ここは今からホモモのお部屋になるんだよ！

半分段ボールという殺風景な部屋になってしまいました。ミークが帰ってこないうちに離脱してチームの元に行きましょう。

全速力で静かに駆け抜けるホモモちゃん。目的地までは矢印で案内されるので迷う心配はありません。

このゲームではネームドのウマ娘たちはアニメ基準でチームが振り分けられています。シリウスにはライスとチケゾーしか目立ったウマ娘がいません。

と、ここでランダムイベントが発生してしまいました。入学や転入したばかりの時はここぞと言わんばかりに他のチームが勧誘しにきます。システム上では移籍することは出来ませんが、勧誘してくれたウマ娘との絆ゲージが少し上がります。

「よお、暇だったらすピカ入らね？」

今回はゴールドシップでした。会話を進めっていると誘拐されそうになりますが、ダスカとウオツカがないおかげか何とか袋は避けられました。

しかし簡単に諦めてくれないのか、あの手この手で連れ去ろうとしてきます。ゴルシの夢女歓喜のイベントですね。

「こつちだ、ホモモ！」

すると木陰からネットランチャーが発射されました。ゴルシが網に捕らえられているうちに、ランチャーの持ち主であるウマ娘とトンズラしましょう。ランチャー娘のおかげで無事にたどり着くことができました。

「危なかったな。これ買つといて良かったぜ」

それにしてもこの娘、随分物騒な物を持っていますね。ひとまずお礼を言っておきましょう。チームのメンバーからもスキルヒントが貰えたりするので、ある程度真面目に答えておいた方が良いでしょう。

照れたりする姿がモブウマ娘の割に可愛らしいですが、それは置いておいて名前を聞いてみましょう。

「私はリードエスエフ。お前と同じチームデネブの仲間」

顔面アップで名前が出てきました。よく見たらオッドアイなんですね。オッドアイのモブウマ娘は珍しいスキルを持っていたりするので、これはラッキーですね。

こちらでも自己紹介をしましょう。オッス、オラホモモ！ よろしくな！

「ああ。そうだ、京アメやるよ。衝動買いしちまって大量に余ってるんだ」

絆ゲージが上がりました。リードエスエフは買い物好きなんですね。

「そろそろ他の奴らも来る頃だけど…… あっ、来た来た！」

個性豊かな仲間たちが集結したところで、今日はこの辺で終わりにしておきます。ご拝読ありがとうございます。

###

チームデネブに新しいメンバー、ホモモが加わった。

地方のトレセン学園から中央に転入してきた彼女は転入早々、ゴールドシップの気まぐれに付き合わされる羽目になる。

彼女を助けたのは、同じチームのメンバーであるリードエスエフだった。ネットショットピングで手に入れたネットランチャーを駆使してホモモを助け出すと、チームの部屋に駆け込んだ。

「危なかったな。これ買つといて良かったぜ」

苦笑いするリードエスエフに、ホモモは何度もお礼を言った。純真無垢な笑顔に対して、リードエスエフも照れながらもそれに答えた。

「気にすんなって。私らチームじゃんか」

「そうだよね、私たちはチームなんだよね」

何か言いたげな顔をしていたホモモだったが、すぐに笑顔に戻ると右手を差し出した。リードエスエフも快く握手をする。

「私はリードエスエフ。お前と同じチームデネブの仲間」

「うん。私はホモモ、もう知っちゃってるけどよろしくね！」

「ああ。そうだ、京アメやるよ。衝動買いしちまって大量に余ってるんだ」

リードエスエフは水色のアメ玉をホモモに手渡す。ホモモは嬉しそうにそれをポケットにしまうと辺りを見回した。まるで物置小屋のように辺りには物が散乱しており、リードエスエフは慌てて机の上の物を片付け始める。

「ごめんごめん。置き場がなくて、ついここに置いちやうんだよ」

「買い物好きなんだね」

「まあな。そろそろ他の奴らも来る頃だけど…… あっ、来た来た！」

窓越しに外を見ると、遠くから3人のウマ娘がこちらに向かって走ってきていた。

mp2 『ゆかいな なかまたち』

地味っ娘たちとトレーニングするRTA、はあじまあるよー！

前回はリードエスエフにゴルシの魔の手から助けてもらい、チームの部屋に向かったところまででしたね。早速チームメンバーの紹介からスタートです。よろしくお願いさしませそ。ここはムービーではないのでスキップは出来ません。やめてくれよ……（絶望）

1人目はユイイツムニちゃん。褐色で眼鏡っ娘とかやべえ容姿してます。四字熟語を頻繁に使いますが、意味を知らないか間違っているかのアホの子です。ダートが得意らしいのでホモモちゃんが悪路を突き進む事はなさそうです。

2人目はバンバラバンバン。どこかの全力全開な人たちみたいな名前をしています。茶髪以外はどこにでもいそうな女の子ですね。差し運用は決めているんですが、短距離かマイルかで迷いますね……

と思ったら3人目が解決してくれました。フリルドイチジク、大阪からやってきたそ

うです。おいしい。短距離の追い込みという最悪の組み合わせですが、ドウスツペ？

そして今作の育成に最も欠かせない存在がやってきました。そう、トレーナーです。このトレーナーはランダムで振られるので、年配の親父や爺さん、田舎から出てきた純朴少年まで様々な年齢層のトレーナーが出てきます。さて今回はどんな人が来るのか。

「おっ？ あなたがホモモね？」

なんだこのおっさん!? グラサンかけたスキンヘッドの親父が現れました。よお、トレーナーの兄ちゃん、姉ちゃん。よろしく頼むぜ。

「まあスピカ以外はどこも手一杯だから、どんな形であれ嬉しいわ。アタシは稲葉、よろしくね」

おっ、そうだな（適当）

ここから先、他のウマ娘の育成はほとんど彼に任せることになります。GIレースを

控えたメンバーに付きつきりになることもありますが、各個人に練習メニューを渡すトレーナーがほとんどなので大丈夫です。見た感じ他のみんなからの信頼もあるようですよ。

「まずはデビュー戦よ。それぞれ目標を見据えてトレーニングに励みなさい！」

オネエの言葉でトレーニングが解禁になりました。イチジク浣腸が電話に出てしょんぼりしているけど、平気平気！ ホモモちゃんは中距離の逃げで育成するので、基本はスピード練習のみで構いません。トレーニング仲間が誰もいない時にはスタミナや賢さを上げていきましよう。

芝での走り込みですが、ニシノフラワーとユイイツムニがいますね。前回も言った通り、スキルの確保は貴重なので、ハヤテを獲得するために練習後は積極的に話しかけましよう。

「ホモモさん、今日はお疲れさまです」

これから話を広げようとしたところでニシノのトレーナーに召集されてしまいました。まあ絆ゲージは少し上がったから多少はね。

後はみんなで晩御飯を食べて、お風呂に入ってお休みです。基本このループで育成が進んでいきます。授業のコマ割りでいくつもトレーニングをするので体力がえげつないくらい減りますが、寝たら全回復なので問題ないです。授業も攻略Wikiからパターンを覚えておいたので学年トップは余裕です。

放課後に他のウマ娘から遊びの誘いが来ますが、欲しいスキルを持っているウマ娘以外は不参加にします。どうしたのニシノちゃん？ お花のお世話？ 行く行く。

こんな感じで周りとの関係を極端に減らしていけば、必要なイベントをなくすことができます。

それではデビュー戦まで甥の木村、加速します。

メイクデビュー戦ですが、アプリ版と同じくただ見るだけになります。スキルはポイント制でなくなった代わりに自然習得になってますので、取るのを忘れるなんてこと

はありません。どう足掻いても勝つ自信しかないのです、スキップして結果だけ見ましよう。応援には後のレースに控えているリードエスエフとイチジク浣腸がいます。俺の走り様、見とけよ見とけよ。

ヨシ、イクゾー！デッデッデデデ！ カットしよ！

はい、1位です。5バ身差での余裕勝ちでしたね。ファンも1000人増えてうん、おいしい！

トレーナーも分厚い胸板押し付けてハグしてきました。やめろ、私はノンケだぞ！
さて、リードエスエフとイチジク浣腸のレースですが結果は……

——— どちらも1位でした！ やったぜ。どちらもNPCによるトレーニング、しかもイチジク浣腸に至っては短距離追込だったので冷や汗かきましたよ。さあMake debut 踊って、コーランいっぱい読むゾ（IS）

ライブを終えた後は東京のユイツムニと、北海道の開拓地に飛ばされたバンバラバンバンからレースの報告が来ます。どちらもライブでセンターに立ったそうです。

ホテルに向かう途中、ロビーで女性トレーナーに慰められるウマ娘を見つめます。他の仲間はあまり気に止めていないのですが、ホモモちゃんはそれを見つめて何やら止

まっつてしまった様子。

「どしたホモモ？ あの子知り合いか？」

イチジクが心配して駆け寄ってきました。取り敢えずその場から離れますが、一体どうしたんでしょ。専用イベかな？

エレベーターで稲葉のおっさんからその事を聞かれますが短縮したいので、ここは『何でもない』を選びましょう。深くは追及してこなくなります。

「そう。みんなレースで疲れたでしよう。今日は早めに寝て、明日の新幹線に遅れないようにしないとね。夜更かしは厳禁よー」

ホモモちゃんは真面目で良い子なんだよなあ。他は知らん。素直におっさんの言う通りにしておきましょう。

「そうだ、喉乾いたでしよう。自販機で何か買ってくるわ。何が良い？」

ホテルの自販機高いけどお財布大丈夫なんですかね。安そうなミネラルウォーターにしておきましょう。

「お水ね。エスエフとイチジクはどうする？」

硬水はやめてくれよなー。エスエフはカフェオレ、イチジクはエナジードリンクを頼んできました。寝れなくなるけど大丈夫なんですかね。

「そんなの飲んだら寝れなくなるでしょ！ 大人しくホモモと同じお水にしなさい！」

選択肢があるようでないですねこのおっさん。おっさんから水を貰って、シヨンボリルドルフ状態の2人を連れて部屋に戻りましょう。順番にシャワーを浴びて、歯を磨いて、ベッドにダイブします。たまらねえぜ。部屋に着いたらまずこれやるの私だけでしょうか？

「なあ、この前ウマゾンで買ったんだけどさ……」

どうしましたあ？ リードエスエフが鞆からオセロを出してきました。やりますねえ！

これにはホモモちゃんもたまげてしまいます。こいつ何でも持つてんな。

「稲葉のおっさんにバレねえように、ムニとバンバンと通話してオールしちやおうぜ！」
かしこまり！ リードエスエフが他にも色々出してきたところでフェードアウトです。チームメンバー全員の絆ゲージが上がりました。

今日はここまで。ご拝読ありがとうございました。